

穂別小学校における「新しい生活様式」(vol.23)

1 レベル1 (感染のリスクが低い場合) の対応に変更します

この度、道内の学校の感染症対策が「レベル2」から「レベル1」に引き下げられました。
このことを受け、また、地域の感染状況も落ち着いていることも踏まえ、**基本的な感染症対策を徹底した上で、通常の教育活動を実施していきます。**具体的には以下のように変更になりますので、ご家庭で話題にしてくださいませようお願いします。

ただ、感染症がなくなったわけではありませんので、健康観察や手洗いの励行、マスク着用の推奨、換気の徹底など、学校で感染が広がらないよう、継続して指導していきます。

2 具体的な対応策 (現在はレベル1です!)

レベル1 < 感染のリスクが低い場合 >

【家庭への依頼】

- ①朝晩の検温・体調の確認
- ②**健康観察シートの記入の緩和**
- ③予備マスクの用意、顔にフィットするマスク着用の推奨

【登校時】

- ①登下校時、マスク脱衣のルール of 指導の継続 (身体的距離の確保、会話を控えることなど)
- ②非接触型検温器等の継続的な活用
- ③**教室での手指消毒、検温忘れ、風邪症状の確認・対応** (風邪症状が見られる場合は、保護者に連絡)

【学習時及び休み時間】

- ・休み時間の遊び方の指導、手洗い・消毒の指導の継続
- ・マスク脱衣のルールの確認

【換気の徹底】 **密閉空間の禁止**

- ①2段階換気 (少しだけ常時換気) の実施
- ②業間ごとに換気 (2方向) の徹底
- ③加湿器による教室の湿度管理
- ④放送による注意喚起 (保体委員会)

【距離の調節】 **密集場所の禁止**

- ①近距離にならない配慮 (パーティーションの活用)
- ②グループ学習時の配慮 (時間、距離、形式)
- ③**感染症対策を行った上で、通常の教育活動を実施**

【発声の抑制】 **密接場面の禁止**

- ①合唱指導時のマスクの原則着用、児童の距離の確保
- ②リコーダー、鍵盤ハーモニカ等の演奏活動の配慮

【給食時】

- ①手洗い・机上消毒の指導の継続、適切な換気の確保
- ②当番児童の体調確認
- ③給食準備 (机上にハンカチ)
- ④配膳の配慮 (量の調整、おかわりの仕方)
- ⑤スクール形式で食事、**食事後の歓談時のマスク着用の推奨**
- ⑥歯磨き、うがい時等のソーシャルディスタンスの確保

【児童下校後の消毒作業等】

- ①マイ手袋、専用雑巾で消毒
- ②**特に多くの児童が触れる場所の消毒** (ドアノブ、手すり、スイッチなど)
- ③SSS、教職員による消毒作業の継続

※赤字が前回からの主な変更点です。

【児童の心のケア】

- ①健康相談の実施 (養護教諭・担任)
- ②SCとの積極的な面談 (SC)
- ③偏見・差別への指導の徹底 (担任)

発熱の有無にかかわらず、当該児童に風邪症状がある場合は、症状がなくなるまで自宅での待機をお願いします (出席停止扱い)。

レベルが引き下げられましたので、**同居家族が風邪症状の場合でも、本人の体調に問題がなければ登校可能です。**

これまで使っていた健康観察シートを今後も使用します。**同居家族の体調確認の欄は空欄で構いません。**

登下校時、屋外ではマスクを外すよう、学校で指導します。その際は、人との距離を確保し、会話を控えます。屋内 (バス内を含む) では、マスク着用を推奨します。



今後も、登校時の消毒・検温は、各自で継続します。

レベル2の際は、玄関先で行っていた体調確認ですが、レベル1に引き下げられたので、**担任による教室での体調確認に変更します。**

次の場面で手洗い・消毒を徹底するよう指導します。特に、共有のものに触れた際には、手洗いを徹底します。



外から教室に入るとき



咳やくしゃみ、鼻をかんだとき



給食 (昼食) の前後



掃除の後



トイレの後



共有のものに触ったとき

十分な身体的距離 (2m以上が目安) が確保できる時は、マスクの着用は必要ありません。

体育の授業時には、マスクを外すよう指導します。その際は、児童の間隔を十分に確保し、換気を徹底します。

引き続き、話をするときには**食事後にマスクを着けて話すよう、指導します。**

特に多くの児童が触れる場所を中心に消毒し、**回数や範囲を減らしていきます。**

引き続き、当該児童も含め同居する家族がPCR検査、抗原検査等を受ける際は、学校にもお知らせ願います。